

平成26年度一般財団法人金ヶ崎町産業開発公社事業報告書

1 事業の概況

〔1〕 茅事業部門

(1) 茅生産について

○茅の刈取り効率化と費用抑制を目標に平成25年度から始めた「茅刈りの機械化」を推進し、茅刈取り数の向上に努めたが、機械刈では春作業の負担が大きく、費用抑制にはつながらなかった。

しかし、優良な茅の生産のためには刈り倒し（クリーニング）も必要であり、手刈りと機械刈りを組み合わせて行うことが必要である。

○前年度と同様に、茅刈り作業員の確保のため金ヶ崎町シルバー人材センターへの委託と並行して、職業安定所へ一般作業員を募集し人員不足に対応した。

①H26 生産計画

	1日当たり作業 予定人数	1人当り の目標数	刈取り 期 間	刈取り目標数 合 計
金ヶ崎町シルバー人材センター	10人	35束/人	20日間	7,000束
一般応募作業員	10人	25束/人	8日間	2,000束
機械作業	8人	800束	10日間	8,000束
合計	28人			17,000束

②H26 生産実績

	1日平均人数	1人当り の目標数	実働日数	刈取り数 合 計
金ヶ崎町シルバー人材センター	6.4人	34.85束/ 人	23日間	5,129束
一般応募作業員	6.2人	17束/人	18日間	1,901束
機械作業	8.2人	806束	16日間	10,800束
合計				17,830束

参考 刈取数量の推移

	H22	H23	H24	H25	H26
刈取り数量（束）	15,190	5,454	7,949	14,336	17,830

※乾燥後の製品化数量ではない

〔総括〕

○11月4日から手刈り作業を開始（シルバー人材センター：16人、一般作業員：6人）した。その後、作業員が減少（シルバー人材センター：10人 △6人）したため、一般作業員でシルバーの刈取り束を島立てする作業を行った。シルバー人材センターと連携して、作業員を確保することが大きな課題として残った。

○11月10日から機械刈り作業を開始した。機械刈の速度に茅集め作業が追い付かず、作業員が多数必要となった。総面積の半分（約30ha）を機械刈りすることができた。

○機械刈後の茅の一部を倉庫に運び、悪天候時にスグリ作業し、一般作業員の雇用を確保した。

○機械刈の束の乾燥方法を見直し、はせがけとした。

（2）茅販売について

① 販売実績

	H22	H23	H24	H25	H26
数量（束）	18,870	17,533	2,870	5,360	13,114
売上（円）	8,236,500	7,787,696	1,948,800	3,376,800	8,657,366

② H26 販売内訳

販売先	数量（束）	金額（円）	使用先
くさかんむり（兵庫県神戸市）	4,884	3,270,326 （@620×4,884束×1.08）	
隅田隆蔵（奈良県宇陀市）	4,050	2,624,400 （@600×4,050束×1.08）	
有限会社 南部萱	3,780	2,449,440	

(岩手県雫石町)		(@600×3,780 束×1.08)	
酒井建設合資会社(福島 県南会津郡只見町)	300	259,200 (@800×300 束×1.08)	
港薬品造園(神奈川県横 浜市)	100	54,000 (@500×100 束×1.08)	
計	13,114	8,657,366	

③ 茅の在庫(期末) …年度末の在庫(見込)

	H22	H23	H24	H25	H26
在庫数量(束)	3,616	3,174	3,616	5,672	3,928

④ 平成27年度当初の販売可能数量(見込)

期末在庫 3,928 束

翌年度収納予定 約 10,000 束

合計 約 14,000 束

	H23	H24	H25	H26	H27
期末棚卸(束)	3,803	3,174	3,616	6,205	3,928
翌年収納予定 (束)	14,951	5,454	7,949	14,336	10,000
合計(束)	18,754	8,628	11,565	20,541	13,928

※刈り取り茅のうち、品質の良くないものをスグリ、再結束作業を実施した結果、数量が減少することがある。

[総括]

○平成26年度は新規業者も含め、予定数量を販売することができたが、平成27年度は、安定した供給先を確保するように努めたい。

○倉庫内の棚卸を実施し、在庫の確認を行った。

〔2〕 特産品開発部門（町からの受託事業：50万円）

（1）町特産品のPR

金ケ崎産米「亀の尾」を利用した焼酎（「亀の尾」）のPRのためシールを作成。

（「岩手 金ケ崎」のシール 3,000枚 32,400円）

アスパラガスのPRのため、ガースくんピンバッジを作成。（300個 98,820円）

アスパラガスのPRのため、アースくんパーラちゃんガースくんファミリーのピンバッジを作成。（220個 57,024円）

アスパラガスのPRのため、顔ハメパネルを作成。（2台 299,160円）

（2）農産物を利用した新商品の開発・販売

アスパラ粉を加工し、新商品開発のために提供。（10,800円）

（参考）「金ケ崎町ふるさと宅配便」実績

時期	販売数量	販売金額	公社手数料収入（7%）
夏	263セット	741,900円	39,379円
冬	306セット	1,057,400円	60,519円
合計	569セット	1,799,300円	99,898円

■環境整備部門

1 平成 26 年度事業概要

(1) 農産物等移動販売事業（町補助金：600 千円）

買い物弱者対策として、産直かねがさき、産直ろくちゃんと連携し、農産物等の移動販売を行った。（月 4 回運行）

※第 2・第 4 金曜：北ルート、第 1・第 3 木曜：南ルート

②稼働状況

〔概要〕 産直ろくちゃん（北ルート）、産直かねがさき（南ルート）の協力を得て、買い物弱者地域に地場の農産物等を届けた。

北ルート（千貫石公民館、遠谷巾消防センター、真栄木公民館、長志田会館） 運行 23 回、利用人数 277 人 売上 235,143 円

南ルート（和光地区研修集会所、細野振興会館、高梨会館、平林公民館、百岡公民館） 運行 24 回、利用人数 490 人 売上 487,311 円